

文化

『郷土食の研究』(奈良県下主食部)が、食糧本部から昭和16(1941)年3月に、翌17年2月には同聯盟本部から『郷土食の研究』(奈良県下副食部)が刊行された。ともに孔版(謄写版)印刷である。

副食の部も、奈良県女子師範学校家事科が、生徒12人の夏期休暇中の食事を詳細に調査したもので、「副食物の研究」「食品別配合」「食品ノ出盛期利用程度」「食物調理法」「副食物」「其他(漬物・間食)」からなる。生徒は奈良、生駒を始め、奈良県下全域に分散している。

夏休み中に摂取した食品の数は合計162種で、これらを植物性食品・動物性食品・海藻類に分けて、朝・昼・夜の、どの食事で、どのような食品を食べるのかの使用頻度の統計を取

新 な 民俗通信

24 鹿谷 熊

(続々)戦時下の「郷土食」調査

—副食物—

肉や鶏卵が他の動物性食品に比較して多く用いられているものの、使用頻度は少ないとしている。

一番使用頻度が高いのは、夏期であるため茄子(なす)だった。ここで一日5~6回の食事というの

(みそ)・豆腐・油揚げ等の良質のタンパク質を含むものもあるが、使用回数は少なく、動物性食品では、味噌

に、朝と昼の間、昼と晩の間にても食事を摂(と)つて合計5回ほど食事をし、繁忙期はさらに夜にヤセク

金体としては、「動物性

調理法によって、同じ食品でも巧みに変化させることができ、栄養価も異なる

付属小学校の児童を対象と

して戦後の学童の栄養摂取

状況の調査も行って「最近

このでは、朝晩別に

のよつた食品が配合される

か具体的に調べられて

る。また一部があるが、家

庭類は朝著しく多い」とし

毎日の食事の献立も明

らかにされている。粥が全

ては「アサハ・アサケ

ンズイ・ヒルメン・ケンズ

イ・ユウハン」というよう

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

焼物・佃煮・浸し物・酢の

物・和え物・汁掛け物・ご飯・

心の家やサラダ、ハヤシラ

イ・オムレツ、コロッケ

の夜食)を摂る食事形式が

一般的であったことをさし

ていて、

物性食品の時はそればかり

が用いられ、配合は考慮さ

れていない」とし、また植

物性食品は一日中大差なく

用いられるが、動物性食品

</